

葛飾区地域力向上事業費助成金交付申請書

令和 7 年 6 月 1 日

葛飾区長 宛て

記入見本
他組織と連携して
行う取組の例
(上限30万円)

申請者
(自治町会名) ○○町会
(役職・代表者) 会長 立石 太郎
(住 所) 葛飾区立石 1-1-1
(電 話) 03-1234-5678

葛飾区地域力向上事業費助成金交付要綱第 6 条の規定により、関係書類を添えて、下記のとおり助成金の交付を申請します。

記

事業の名称	次の 5 つの取組から 1 つを選び、下の空欄に具体的な事業名を記入して下さい。 ☒ ① 子育て世代や若年世代との関係づくり ② 自治町会活動を知ってもらう取組 ③ 負担軽減の取組 ④ デジタルの活用 ⑤ 事務事業の標準化
	(具体的な事業名) ○○町会子どもまつり
実施日時	令和 7 年 7 月 2 7 日 (日) 1 0 時から 1 4 時まで
実施場所	○○小学校校庭
他組織との連携	☒ (有) (○○地区子ども会、○○小学校 P T A) ・ 無
助成申請額	1 7 5 , 0 0 0 円
連絡責任者	(氏名) 立石 太郎 (電話番号) 03-1234-5678 (メールアドレス) t-tateishi@city.katsushika.lg.jp

※添付書類 事業計画書 1 通（第 1 号様式補助①）

事業予算書 1 通（第 1 号様式補助②）

※他組織との連携の有無は、取組 1 「子育て世代や若年世代との関係づくり」又は取組 2 「自治町会活動を知ってもらう取組」を行う場合のみ記入して下さい。

葛飾区地域力向上事業費助成事業計画書

自治町会名 ○○町会

1 事業の取組の番号

交付申請書で選択した番号を記載して下さい。

1

2 事業の名称

○○町会子どもまつり

3 事業の目的

1の取組として2の事業を行う目的を、地域の課題などをふまえて記載して下さい。

○○町会の会員が減り、事業に携われる人材が不足している。また、ご近所間の交流が少なくなり、町会の活動に対してなかなか理解を得られないこともある。そこで、子ども会やPTAと連携して町会のおまつりを開催することで、子育て世代の近所付き合いを促進するとともに、町会員が子育て世代と交流する機会を作る。

4 事業の具体的な内容

模擬店とゲームコーナーを設置する。チャリティーバザーを行う。
やぐらを組んで盆踊りを行う。
防犯を啓発する展示を行う。

5 事業実施後に想定される成果・効果

本事業を行うことでどのような成果・効果が期待できるか、具体的に記載して下さい。

「○○町会子どもまつり」の実施を通じて、参加する子どもやその家族が○○町会の町会員をはじめとする地域の方々と知り合うきっかけを作る。また、町会のおまつりに参加することで町会の活動への理解を深めていただき、活動への参加及び町会への新たな加入促進につなげていくことができる。

記入見本

他組織と連携して
行う取組の例
(上限30万円)

葛飾区地域力向上事業費助成事業予算書

自治町会名 〇〇町会

(収入の部)

(単位：円)

科目	収入内容	金額	備考
1 助成金収入	地域力向上事業費助成金	175,000	
2 その他収入	模擬店収入	① 100,000	
	〇〇町会事業運営費	90,000	
収入合計		365,000	

(支出の部)

(単位：円)

科目	支出内容	金額	備考
1 助成対象経費			
物品購入費	模擬店用食材	60,000	
	ゲームコーナー材料	20,000	
	参加賞	20,000	
	備品	50,000	机、椅子
	展示パネル	20,000	
	事務用品	10,000	筆記具、印刷用紙等
印刷費	ポスター、チラシ	10,000	
役務費	イベント保険料	10,000	
委託料	やぐら設営委託	150,000	
助成金の額の考え方……㊦と①のうち、いずれか低い方の額になります。 ㊦助成対象経費の2分の1の額 $350,000 \times 1/2 = 175,000$円 ①助成対象事業にかかる経費の総額から参加費や他助成金等の収入を控除した額 $365,000 - 100,000 = 265,000$円 →このケースの場合は、㊦175,000円を採用する ※自治町会が単独で行う取組に対する助成金の上限額は15万円 自治町会が他組織と連携して行う取組に対する助成金の上限額は30万円			
小計①		㊦ 350,000	
2 助成対象外経費			
物品購入費	ペットボトル茶	10,000	当日以外の従事者飲料
	交通費	5,000	
小計②		15,000	
支出合計 (①+②)		① 365,000	

※収入合計と支出合計は同額となるように作成してください。